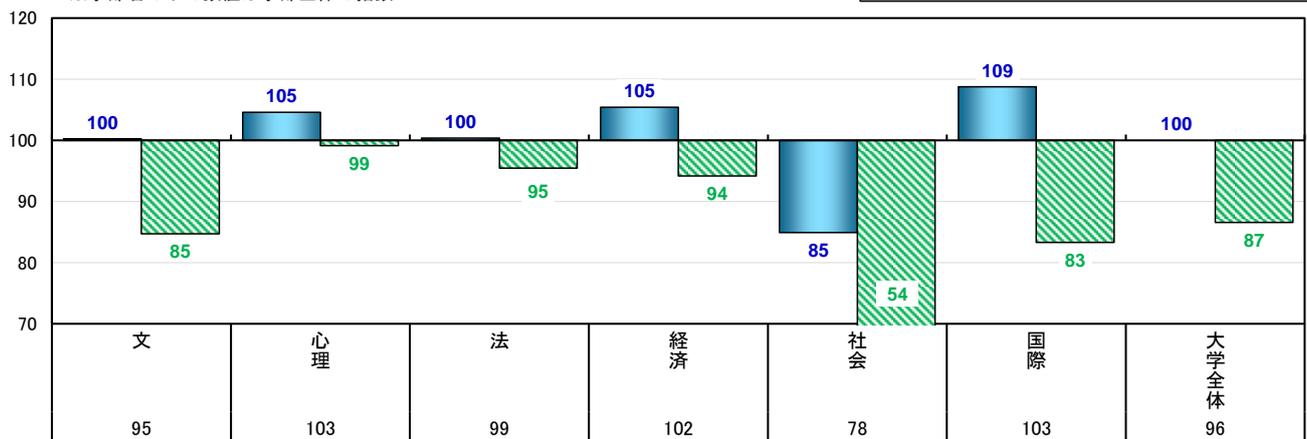


明治学院大：大学全体では4年連続減少、〈共テ前期〉が大幅減少

一般：±0人 共テ：-811人

※前年度の志願者数を100とする指数
 ※学部名の下の数値は学部全体の指数

■一般方式 ■共テ利用方式



主な入試変更点 選抜方法：心理(教育発達)…〈一般・B日程〉を廃止
 法(グローバル法)…〈一般・全学部(英語外部検定試験利用型)〉、〈一般・A日程(英語外部検定試験利用型)〉を新規実施

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、811人(96)のやや減少で4年連続減少。志願者数は2万人を下回った。学部別では、社会(78)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、文(95)はやや減少、法(99)は微減、その他の3学部は増加。方式別では、一般方式(100)は前年度同一人数。共通テスト利用方式は811人(87)の減少で4年連続減少。方式別では、共通テスト受験前に入願締め切りとなる〈共テ前期〉(84)が大幅減少で4年連続減少、一方で共通テスト受験後に入願可能なく〈共テ後期〉(156)は大幅増加。

〈一般方式〉

- 文(100)は、前年度大幅減少の反動はなく前年度並。学科別では、(フランス文)(131)は大幅増加で前年度の反動による増減が継続、(芸術)(102)は微増。(英文)(86)は減少で4年連続減少。
- 心理(105)は、やや増加で3年ぶり増加。学科別では、(心理)(116)は大幅増加、(教育発達)(87)は〈一般・B日程〉の廃止が影響して減少、〈一般・B日程〉を除くと(93)のやや減少。いずれも前年度と逆の増減。
- 法(100)は、前年度大幅減少の反動はなく前年度並、志願者数は2年連続3,000人を下回った。学科別では、(グローバル法)(251)は2018年度の新設以降連続減少した反動に加え、英語外部検定試験を利用した新規方式の実施も影響して倍以上の激増。その他の3学科はいずれも減少。
- 経済(105)は、系統への人気は低下しているが、やや増加で2年連続増加。学科別では、(経済)(124)は3年連続減少の反動で大幅増加。(経営)(93)は前年度大幅増加の反動でやや減少、(国際経営)(99)は微減だが4年連続減少。
- 社会(85)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、(社会福祉)(75)は大幅減少で前年度の反動による極端な増減が継続、(社会)(90)は前年度大幅増加の反動で減少。
- 国際(109)は、コロナ禍で人気は低下している系統だが、増加で2年連続増加。学科別では、(国際)(119)は大幅増加、(国際キャリア)(77)は大幅減少で、いずれも前年度と逆の増減。

〈共通テスト利用方式〉

- 文(85)は、前年度大幅減少に引き続き2年連続大幅減少。学科別では、(フランス文)(223)は、前年度約8割減少の反動で倍以上の大幅増加となり、極端な増減が継続。一方で、(英文)(53)は半減近い大幅減少、(芸術)(87)は減少でいずれも前年度大幅増加の反動。方式別では、〈共テ前期〉(84)は大幅減少、〈共テ後期〉(98)は前年度並。
- 心理(99)は〈共テ前期〉のみの募集だが、微減で3年連続減少。学科別では、(心理)(106)はやや増加で3年ぶり増加。(教育発達)(81)は大幅減少で、志願者数は200人を下回った。
- 法(95)は〈共テ前期〉のみの募集だが、前年度大幅減少に引き続きやや減少、志願者数は2年連続900人を下回った。学科別では、(消費情報環境法)(173)は激増で、前年度の反動による極端な増減が継続。その他の2学科はいずれも減少で、(政治)(50)は半減で2年連続減少、(法律)(93)はやや減少で4年連続減少。
- 経済(94)は、前年度の大規模増加の反動は小さくやや減少。学科別では、(経営)(119)は2年連続大幅増加だが、その他の2学科はいずれも前年度大幅増加の反動で大幅減少。方式別では、〈共テ前期〉(88)は前年度大幅増加の反動で減少、〈共テ後期〉(188)は激増で2年連続増加、共通テストの平均点ダウンの影響を加味した合格目標ライン予想をもとにした追加出願の増加も影響。
- 社会(54)は、大幅減少で前年度の反動による極端な増減が継続。学科別では、(社会福祉)(45)、(社会)(58)は大幅減少で、いずれも前年度激増の反動。方式別では、〈共テ前期〉(49)は前年度激増の反動で半減以下、〈共テ後期〉(143)は大幅増加で2年連続増加、共通テストの平均点ダウンの影響を加味した合格目標ライン予想をもとにした追加出願の増加も影響。
- 国際(83)は〈共テ前期〉のみの募集だが、コロナ禍による系統への人気低下と前年度大幅増加の反動で大幅減少。